

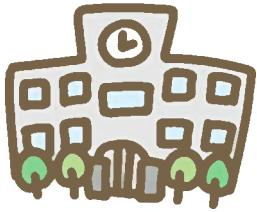
ゆめスクールプラン推進委員会だより

1

発行 ゆめスクールプラン推進委員会 事務局

「ゆめスクールプラン推進委員会（東部地区 第1期）」発足

＜設置の趣旨と名称について＞



平成30年3月に、「小中学校再編基本構想検討委員会」から、市内全体として施設一体型小中一貫教育学校（義務教育学校）を最終的に3校設置することを目標とする基本構想が示されました。それを受けて、平成31年3月に「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画が策定されました。

「未来創造ゆめスクールプラン」基本計画では、令和3年度に城北小と高島小を統合し、上諏訪中を含めた施設併設型小中一貫教育学校として開校することとし、そのための諸課題を協議する学校再編推進委員会「ゆめスクールプラン推進委員会（東部地区 第1期）」が発足しました。

推進委員会で検討された内容をこの「ゆめスクールプラン推進委員会だより」を通じて、地域のみなさんや保護者のみなさんにお知らせしていきます。

＜ゆめスクールプラン推進委員会名簿＞

選 出 区 分	委 員 氏 名 （委員長：◎、副委員長：○） 【敬称略・順不同】
児童生徒の保護者代表	小濱 健一 ・ 長谷川 哲也 ・ 松田 梨香
学校の代表	○矢島 作朗 ・ 飯嶋 政泰 ・ ○松井 聡 ・ 土井田 和広 ・ 加藤 浩 ・ 矢島 和明
地域の代表	山田 一六 ・ 宮野 孝樹 ・ 飯坂 正樹 ・ 入江 公子 ・ 飯嶋 敏雄
保育園の保護者代表	平野 智美 ・ 溝口 綾
その他市教委が必要と認めるもの	◎関 基 ・ 藤森 一俊 ・ 小平 祐市 ・ 山崎 義夫 ・ 井上 幸彦

＜推進委員会での小島教育長あいさつ＞

平成25年度にスタートした「あり方検討委員会」では、諏訪市の小中学校が直面している様々な課題の現状や今後の推移の予測に基づく今後のあり方や、将来の学校の望ましい姿を描きだしていただきました。

それを基に平成28年度に設置された「基本構想検討委員会」では、諸課題の更なる分析検討と、主にソフトの部分、つまり目指すべき教育の内容について夢や希望を含めて検討、施設一体型を理想とする小中一貫の教育を目指した方向性が打ち出されました。諏訪市の義務教育の課題はたくさんありますが、教育の内容と方法のあり方を第一（スチューデントファースト）として検討を重ねてきました。

基本計画を基に、いよいよ将来の教育の内容や形、あるいは様々な条件や環境等についてその具体を話し合う「小中学校再編推進委員会」が始まります。この推進委員会が中心となって話し合いが進み、プランの具体的な内容が決められていきます。諏訪市の子どもたちにとってよりよい教育環境を整えていかれますようご協力をお願い申し上げます。



〈第1回推進委員会の内容〉

第1回推進委員会では、小島教育長から推進委員に委嘱状が交付された後、これまでの経過及び学校再編推進委員会の設置についての概要説明が行われました。その後、以下の事項について協議が行われました。



(1) 推進委員会の正副委員長の選出

○委員長 関 基 さん

○副委員長 矢島 作朗 さん、松井 聡 さん

(2) 推進委員会の名称 「ゆめスクールプラン推進委員会（東部地区 第1期）」 に決定。

(3) ゆめスクールプラン推進委員会の組織体系と役割について

＜ 組 織 名 ＞		＜ 主 な 役 割 と 検 討 事 項 ＞
ゆめスクールプラン推進委員会 [推進小委員会（事務局）]		・ 概ね2か月に1回委員会を開催し、再編に関する諸課題について、部会の検討結果の報告を受けて協議・決定を行う。
部 会	総 務 部 会	・ 学校の名称、校歌、校章等に関すること ・ 式典行事等に関すること ・ 旧施設の利活用について
	通 学 部 会	・ 通学方法と通学路に関すること ・ 通学路の安全対策に関すること
	学 校 部 会	・ 学校目標、教育課程の編成、学校行事に関すること ・ 学校組織、児童会・生徒会に関すること ・ 部活動、交流学习に関すること ・ 放課後児童クラブに関すること
	事 務 部 会	・ 学校事務、学年費等の集金方法の統合に関すること ・ 備品及び保存文書等の整理に関すること ・ 移転計画に関すること
	P T A 部 会	・ P T Aの組織運営、会費、役員選出方法等に関すること
	同 窓 会 部 会	・ 同窓会の組織運営、会費等に関すること
	コミュニティスクール部会	・ コミュニティスクールの組織運営に関すること

(4) ゆめスクールプラン推進委員会の運営方法について

- 推進委員会
- ・ 会議は原則として2か月に1回開催。
 - ・ 推進委員会は原則公開とする。案件によっては、非公開とする場合もある。

- 部 会
- ・ 部会は、月に1回程度開催。
 - ・ 部会は、推進委員会へ報告するための事前の調査・検討会議であり、公開はしない。

ひとくちメモ ～小中一貫教育とは～

小中一貫教育は、小学校と中学校の〈たてのつながり〉と、学校と地域社会の〈よこのつながり〉を生かしながら、学校と地域社会が共に目指す子ども像を共有し、9年間を見通した教育課程を編成し、系統的、連続的な学びを目指す教育です。

第3回推進委員会の予定

9月11日(水) 19:00～

場所：城北小学校

＜連絡先＞ ゆめスクールプラン推進委員会 事務局
諏訪市教育委員会 教育総務課 教育企画係
TEL 52-4141（内線467） FAX 53-8299

ゆめスクールプラン推進委員会だより

2

発行 ゆめスクールプラン推進委員会 事務局

新しい学校に向けた具体的な話し合いが始まりました！

令和元年5月28日に第1回「未来創造ゆめスクールプラン」が開催され、それを受けて、第2回の「ゆめスクールプラン推進委員会」が、7月17日（水）に上諏訪中学校で開かれました。事務局から、(1)学校統合の方式、(2)新小学校の位置や開校時期、(3)小中一貫教育学校の理念・グランドデザインの素案、(4)通学区の扱い等の案が示され、協議が行われました。



〈第2回推進委員会の内容〉



【協議事項】

(1) 学校統合の方式について

- 新設統合（統合予定の城北小・高島小学校を閉校とし、新たな小学校を開設）
- 学校名は新たに命名し、校歌、校章についても新たに定める

— 承認 —



〈質問〉 ○ 統合の方式について、今回は東部地区の第一段階ですが、東部地区の第二段階の城南小、諏訪中と一緒にする時にはどうなるのか。

《事務局》 ○ 最終的には、上諏訪中・諏訪中学区全体で一つの施設一体型の小中一貫校を目指すのが「ゆめスクールプラン」（東部地区）の最終目標。現時点では、それまでの具体的な期間をはっきり申し上げる状況ではない。

(2) 新小学校の位置及び開校時期について

- 新小学校の位置 → 現高島小学校の校舎を利用
- 新小学校の開校時期 → 令和3年4月1日

— 承認 —



新小学校の校舎として
利用される現高島小学校

(3) 小中一貫教育学校の理念及びグランドデザインの素案について

① 諏訪市内の小中一貫教育学校の理念

義務教育9年間の系統性・連続性を見通した学校文化の創造

目指す子ども像

①自ら学び自らの力で課題に立ち向かう意欲を持った子ども

（他7項目）

学校教育目標

①基礎学力の定着と伸びる力をさらに伸ばし、問題解決力を身に付け、将来にわたって学び続ける素地づくり

（他8項目）

教育課程編成のための四つの柱

- ①確かな学力と豊かな感性を身につける
- ②子どもの心身の成長と健全な発達
- ③豊かなコミュニケーションと健全な子ども社会の創出
- ④子どもを取り巻く多様な連携と関わりの構築

※上記のグランドデザインを基に検討し、9年間の教育課程を編成していきます。

〈質問〉 ○ 学年段階の区切りについて、5－4制という説明があったが、小学校6年では卒業式という区切りがあり、他の中学校へ通う生徒もいるし、他の小学校から来る生徒もいる。他の学校との関係はどうなるのか。

《事務局》 ○ 学年は、小学校は1年から6年、中学校は1年から3年という制度は変わらない。教育課程の中身について成長段階に応じて教育内容を5年でまとめていく。どの学年も学習指導要領に準じて指導しているので、途中で転入や転出があっても取り組む教育の内容は変わらない。

〈質問〉 ○ 小中一貫の学校に行くのと、他の学校に行くのと、何が違うのか。

《事務局》 ○ 学習指導要領に沿ってやっているのでミニマム（最小指導内容）として差がでることはない。信濃町の小中一貫校の報告には、異年齢集団の人間関係では、学年の下の子と学年の上の大きい子の関わりの中で、中学生の心の伸びが顕著という事例もあり、人間性やコミュニケーション力、思いやり等の気持ちが養われるものと考えている。

(4) 通学区の扱いについて(検討中)

- 高島小から諏訪中に進学する学区の生徒のみ、希望に応じて上中への就学を認めていく
- 来年度（令和2年度）に中学1年生になる該当地区の生徒からを想定している
－事務局案として検討している－

《事務局》 ○右図の上諏訪地区が最終的に一つになり、一つの施設一体型の小中一貫校になるのがゆめスクールプランの最終目標。次回の推進委員会において方向性を決めたい。

○城南小から上中へ進学する地域（通学区）については、次回の推進委員会までに、当該地域を対象に説明会を開催し、そこでの御意見・ご要望をもとに、方向性を検討したい。



東部地区（上諏訪地区）
小中学校 通学区図

※各部会に分かれて、部会の協議日程についての打ち合わせ

- ・ 総務部会 8/26、・ 通学部会 8/7、・ 学校部会・ 事務局 7/24, 8/20、
- ・ PTA部会 7/31、・ 同窓会部会 8/23、・ CS部会 8/8

〈連絡先〉 ゆめスクールプラン推進委員会 事務局
諏訪市教育委員会 教育総務課 教育企画係
TEL 52-4141（内線467） FAX 53-8299

第3回推進委員会の予定
9月11日(水) 19:00～
場所:城北小学校

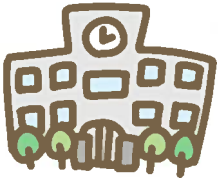
ゆめスクールプラン推進委員会だより

3

発行 ゆめスクールプラン推進委員会 事務局

部会ごとの検討が始まりました！

第3回の「ゆめスクールプラン推進委員会」が9月11日（水）に城北小学校で開かれました。事務局から、「小中一貫教育の実施により期待されるもの」の説明と、通学区の扱いについての説明と協議が行われました。その後、各部会からの報告と検討課題についての話し合いが行われました。



〈第3回推進委員会の内容〉

1 経過報告

(1) 部会員の（追加）報告について

○CS部会 1名追加

(2) 小中一貫教育の実施により期待されるもの

◎子どもたちに期待される効果

〈全国の小中一貫教育を実施している学校に対してその効果を調査した文部科学省の小中一貫教育の導入調査結果より（抜粋）〉

- 児童・生徒の学校生活への満足度が高まった。 86%
- 中学校への進学に不安を感じる児童が減少した。 94%
- 授業が理解できると答える児童・生徒が増えた。 80%
- 児童生徒に思いやりや助け合いの気持ちが育まれた。 83%
- 異年齢の交流により、上級生に下級生の手本になろうとする意識が高まった。 90%
- 下級生の上級生に対する憧れの気持ちが強まった。 89%



異年齢交流の様子
(佐久穂小学校・中学校)

【質疑・意見】(Q：質問、A：回答、C：説明・コメント)

Q1：施設一体型と施設併設型の小中一貫校では、カリキュラムや取り組みに違いはあるのか。

A1：施設一体型と施設併設型では、教育課程の運用の仕方や中身が違ってくる。例えば、信濃小中学校は施設一体型の義務教育学校で校長は1人、佐久穂小中学校は施設一体型の一貫校だが、校長が小中で2人といろいろな形態や対応の仕方がある。

C：事務局：10月31日（木）に信濃小中学校に視察研修に行くことを計画している。

2 協議事項

(1) 通学区の扱いについて — 承認 —

東部地区第1期の小中一貫教育の実施にあたって、通学区の扱いは以下のとおりとする。

○諏訪中学校通学区として定められた下記区域に在住する児童・生徒について、「小中一貫教育を受けるため」との特例理由により、当面の間、上諏訪中学校への通学区（就学指定校）の変更を認める。

○通学区（就学指定校）の変更を認める通学区区域

学 校 名	通 学 区 域
諏訪中学校	榊町、角間町、清水町一丁目、清水町二丁目、清水町三丁目、清水町四丁目、赤羽根町、伝柳町

- 通学区（就学指定校）変更について特例許可の適用は、令和2年度から中学校に就学する者から適用する。
- ・選択する機会は入学時の1回のみとし、一旦入学した生徒については、上記理由による変更は認めない。
- ・城南小から上中へ進学する中浜、大手1・2・3、西大手、湖柳、衣の渡の生徒の通学区の扱いについては、8月21日に対象地区へ説明会を開催し、ご意見を伺った。今後、更にご意見を伺い方向性を検討していく。

（2） 城北小学校施設の現状について

- 事務局より、城北小学校の学校用地、校舎・建物の面積、建築年数等についての説明がありました。
- ・建築年月 昭和40年12月建設（経過年数 築54年）
- ・校舎：鉄筋コンクリート造 4,060 m²
- ・体育館：鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）762 m²
- ・平成19年12月 耐震改修済



城北小学校

3 部会協議経過報告

○（各部会担当の推進委員より、本日までの協議の概要を報告）

（1） 総務部会

- ・新小学校の校名の決定は、広くアンケート方式を採用し、令和2年7月を目途に決定していく。

（2） 通学部会

- ・通学路の決定方法や安全対策について、城北小区と高島小区に分かれて協議・検討していく。

（3） 学校部会

- ・①学校目標、②教育課程、③行事、④児童会・生徒会、⑤特別支援教育、⑥来入児・保健等の係会に分かれて検討していく。

（4） 事務部会

- ・学年費等の集金額や集金の方法、統合作業に向けた台帳の整備やラベリングの検討をしていく。

（5） P T A 部会

- ・①会則・細則、②組織・役員、③役員選出方法、④会計・会費、⑤P T A主催行事、⑥他組織との関わりなどに関することについて検討していく。

（6） 同窓会部会

- ・それぞれの学校の規約や組織図をもとに、まずは小学校を一緒にするための規約を令和2年の8月までに作りたい。
上中の立ち位置をどうするかが課題で、二度手間にならないようにしたい。

（7） C S 部会

- ・コミュニティスクールは小中一緒によいのか、小中一緒にできる部分とできない部分があり検討していく。



C S 部会の様子

【質疑・意見】（Q：質問、A：回答、：コメント）

Q 2：小学校と中学校のコミュニティスクールは一緒にしなくてもよいのか。

A 2：小中一緒にコミュニティスクールがあったり、様々な形態のコミュニティスクールがあったりする。C S 部会の決定を最大限尊重したい。

Q 3：今回は、小学校と小学校が一緒になるのが初期段階で、次に、中学校と一緒に運動会や音楽会をやるのが第二段階となるのか。

A 3：隣接校なので、すでに小中一緒に防災教育や読み聞かせを始めている。可能な限り小・小、小・中との連携を小中一貫教育の方向性に沿って進めていく。

＜連絡先＞ ゆめスクールプラン推進委員会 事務局
諏訪市教育委員会 教育総務課 教育企画係
TEL 52-4141（内線467） FAX 53-8299

第4回推進委員会の予定

11月13日（水）19:00～

場所：高島小学校



信濃小中学校の視察に行ってきました！

10月31日（木）に、小中一貫教育の先進地である信濃町の信濃小中学校へ小中一貫教育の効果について視察に行ってきました。ゆめスクールプランの推進委員、教育委員、教職員、教育委員会事務局職員、総勢29名が参加し、授業参観と各分科会に分かれて研修を行ってきました。

1 信濃町立信濃小中学校の沿革と概要

(1) 沿革：平成24年4月、信濃町の5小学校と1中学校が統合。

県下初の施設一体型の小中一貫校として開校

(2) 学校教育目標

○基本理念「信濃町に誇りを持ち、次代を担う人材の育成」

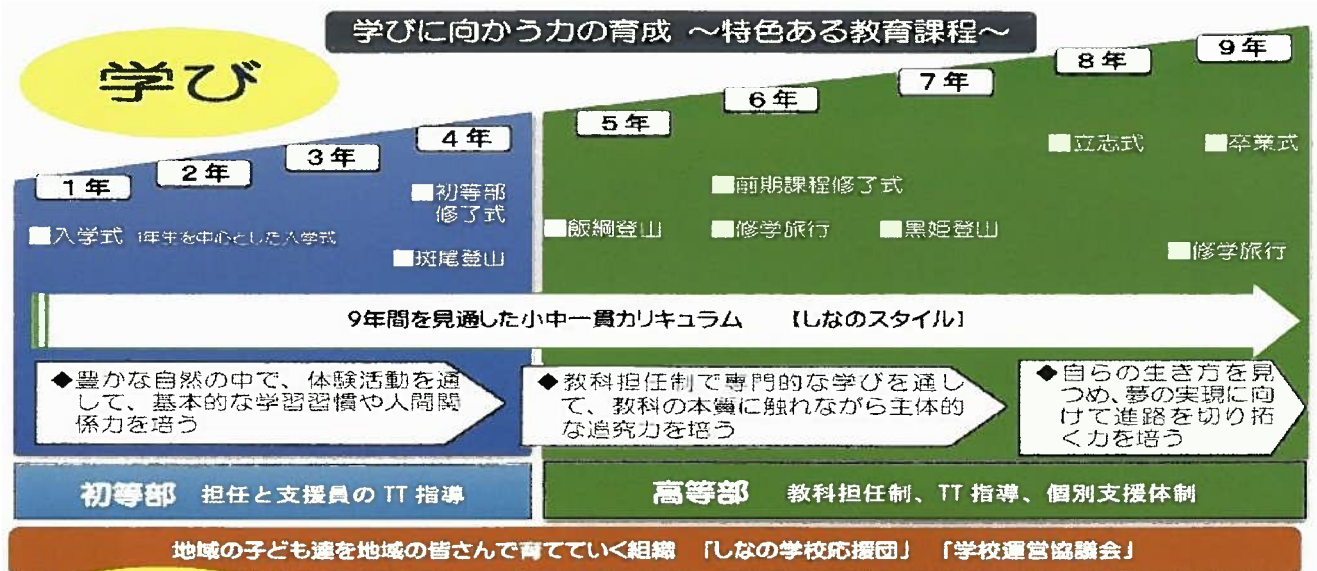
- ①「自主」：夢の実現に向けて追究し続ける児童・生徒
- ②「友愛」：命と仲間を慈しむ児童・生徒
- ③「克己」：粘り強く最後までやり遂げようとする児童・生徒

○重点と方策

- ①「学び」⇒学びに向かう力の育成と体力の向上
- ②「人間性」⇒温かな人間性の涵養と特別支援教育の充実
- ③「地域との連携」⇒地域と共に歩む学校



小学生と中学生と一緒に活動



特色ある9年間のカリキュラム

(3) 児童生徒数

・493名（1～9学年） ・各学年 2学級規模

(4) 教職員数

・校長1名 ・副校長1名 ・教頭1名 ・教諭 ・講師42名
・養護教諭2名 ・司書2名 ・ALT2名 ・SC2名 他



ティチャーズステーション

生徒がいつでも相談に来ることができる開かれたスペース

2 視察の感想

- 里山に生きる人なつっこさと、はにかみを感じ、良き信州教育を残している部分を感じました。
- 授業中の姿勢・態度が常に前向きですばらしかった。一貫校のよさが生かされていると感じました。
- 休み時間に、大きい学年の子どもが小さい学年の子どもをおぶっている姿があり、ほほえましかったです。
- 校内で1年～9年生が歩いていても違和感がなく、自然な形で小中一貫教育が進められていると感じました。
- アトラクション時の体育館への入場がとても落ち着いていました。高等部の子もたちがよい規範となり、落ち着いた雰囲気をつくっていて、全校の落ち着きを生み出していると感じました。
- 校舎が一つということが小中一貫教育の必要条件だと考えます。諏訪市では校舎併設型の校舎になるので、その中でできる最善の努力をしてほしい。今日の視察で一貫校の夢が持てるようになりました。
- どんな学校にしたいか、どんな子どもたちを育てたいかを明確にし、みんなで共有しながらプラス思考で学校再編を進めていきたいと改めて感じました。



アトラクションで行われた全校合唱

3 部会の協議経過報告（11月末日までの協議の概要と進捗状況）

11月13日（水）の第4回推進委員会は、各課題を部会ごとに検討・協議中のため開かれませんでしたので、各部会の経過報告を致します。

（1）総務部会

- ・統合校の名称については、公募による方法を用いて地域住民から意見を募るべく「新小学校名募集実施要項（案）」を現在検討、作成している。なお、1月22日の推進委員会にて「要項（案）」を報告する予定。

（2）通学部会

- ・城北小学校区から高島小までの新しい通学路を設定するため、大和・湯の脇地区の児童及び保育園児等の保護者を対象に、通学ルートや安全対策等の意見を伺う「新小学校への通学路についての意向調査」を実施。現在は回答内容を精査し、スクールバス運行の可否を含めた通学手段や通学ルートを検討している。

（3）学校部会

- ・小中一貫に係る校内の教室配置、小中学校間における児童・生徒の移動通路設置の検討（安全面を含む）、9年間を見通した各教科等の系統表（カリキュラム）の検討。学校目標を含むグランドデザインの検討。日課表、学校行事等、学校運営についての課題の洗い出しと方向性の検討。

（4）事務部会

- ・事務職員、図書館司書、養護教諭が、高島小と城北小の統合に向けて、備品の取扱いについて検討を進めている。12月9日（月）に事務部会を開催し、新小学校開校に向けた城北小所有物品の引っ越し作業について協議を行う。

（5）PTA部会

- ・高島小・城北小のPTA役割分担、組織図をもとに新校の組織等を検討している。新校のPTA会費については、現高島小のPTA活動を基本として維持・継続できるよう改定の方で検討している。

（6）同窓会部会

- ・新たな同窓会会則を策定するため、高島小・城北小・上諏訪中の3校の同窓会会則を比較、確認しながら、検討を行っている。

（7）CS部会

- ・新小学校のコミュニティスクールのあり方はどうあったらよいか検討中。まず、城北・高島両校の支援活動の様子を互いに見学し、さらに交流することを通して関係者の思いを共有することの必要性が議論された。相互見学・相互参加を要請する文書を作成し、関係者に配布した。

＜連絡先＞ ゆめスクールプラン推進委員会 事務局
諏訪市教育委員会 教育総務課 教育企画係
TEL 52-4141（内線467） FAX 53-8299

第5回推進委員会の予定

時：令和2年1月22日（水）

19:00～

場所：駅前交流テラスすわっチャオ